

参考データ集

産業構造審議会 知的財産政策部会 特許制度小委員会
第1回通常実施権等登録制度ワーキンググループ

平成19年7月26日

図 1 - 1 登録した権利の変動に関する年別推移

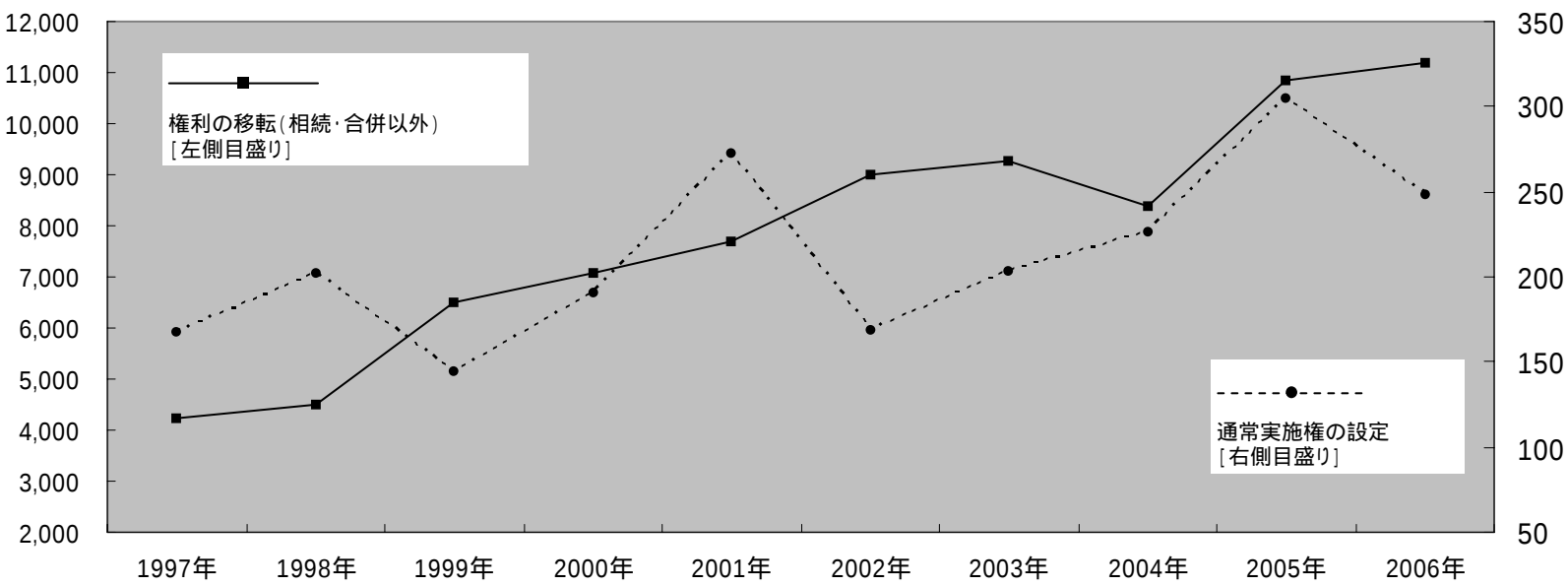
特許権の変動に関する統計表

種別	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
権利の移転(相続・合併以外)	4,244	4,503	6,506	7,069	7,689	8,985	9,270	8,386	10,847	11,174
専用実施権の設定	147	119	481	235	205	164	200	158	160	265
通常実施権の設定	168	202	145	191	273	169	204	227	305	249
質権の設定、移転	49	113	149	147	127	171	144	135	299	104
処分の制限	30	138	145	86	186	83	78	52	59	98

実用新案権の変動に関する統計表

種別	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
権利の移転(相続・合併以外)	1,044	1,252	1,335	1,170	1,129	1,082	688	1,184	385	299
専用実施権の設定	38	47	39	31	9	15	9	12	10	4
通常実施権の設定	42	65	39	35	26	4	24	18	7	2
質権の設定、移転	6	51	76	6	5	6	0	21	80	2
処分の制限	7	48	35	32	16	8	11	17	4	3

【参考】特許権の権利移転(合併・相続以外)及び通常実施権の設定の推移



【出典：2007年版特許行政年次報告書】

図1 - 2 業種別特許権所有数の割合

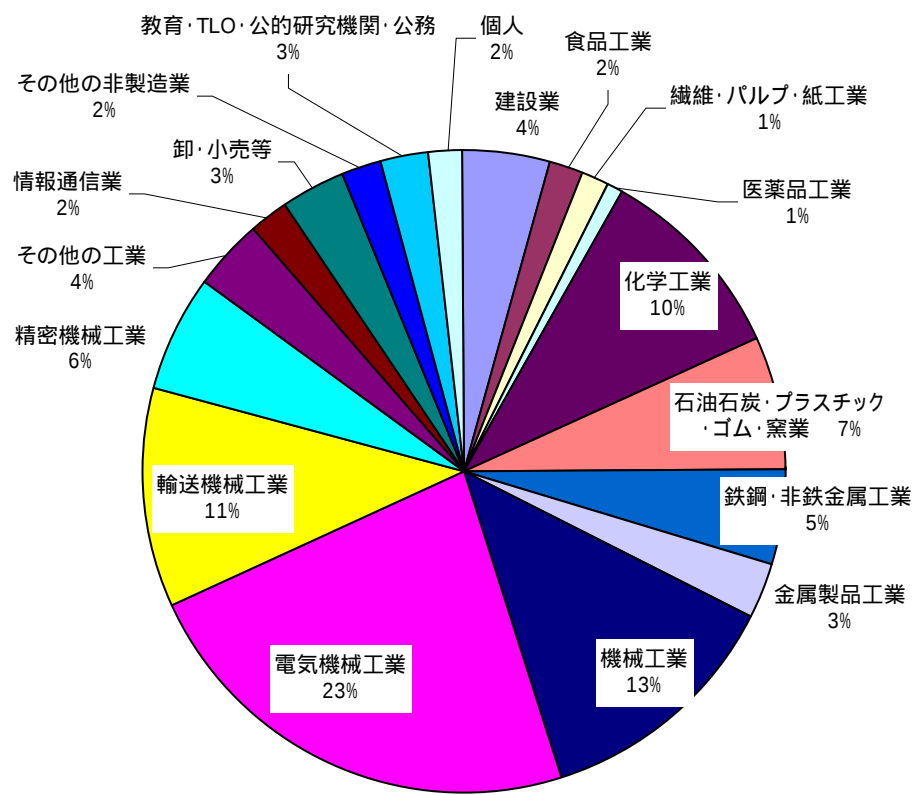
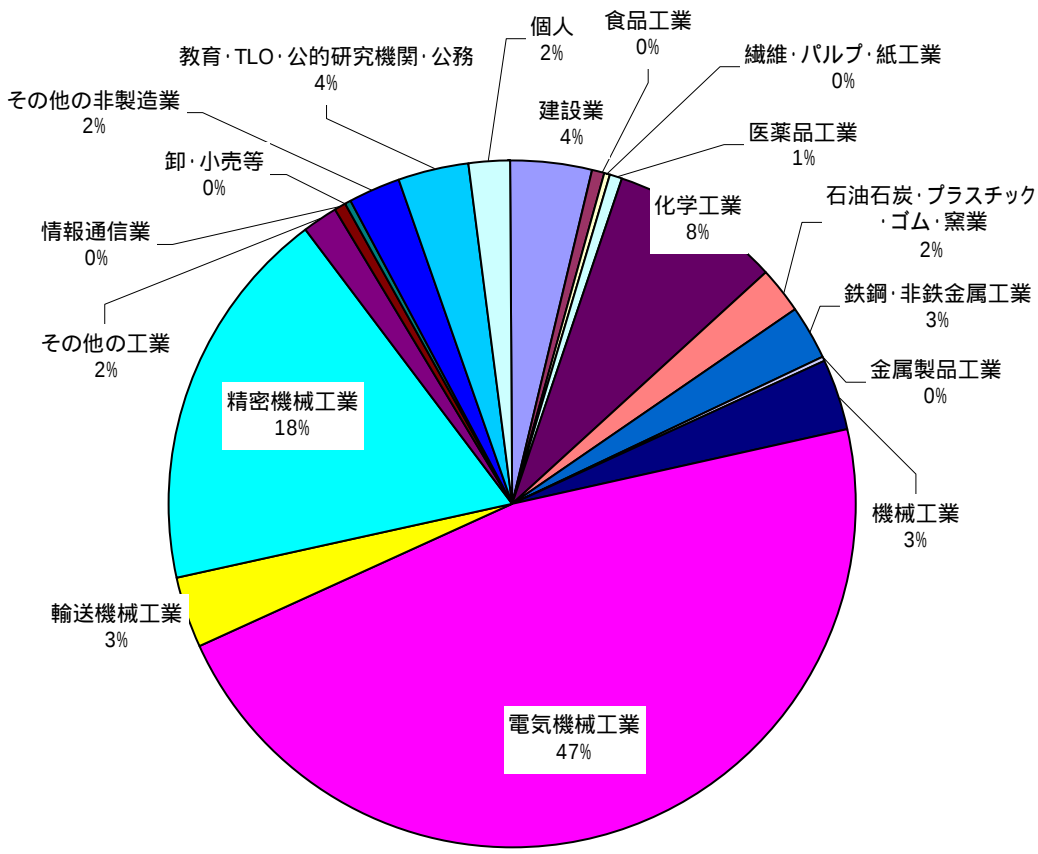


図1 - 3 業種別他社への特許権の実施許諾数の割合



【出典：平成18年 知的財産活動調査報告書】

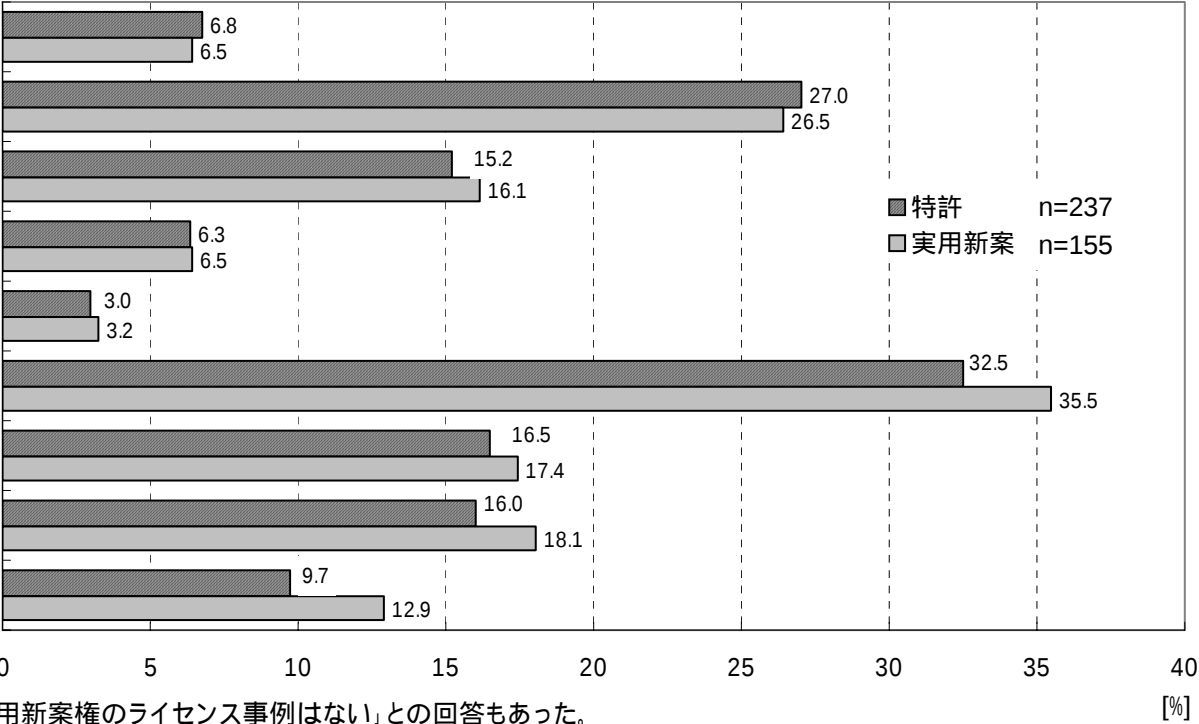
図2 - 1 通常実施(使用)権の登録率

	特許権	実用新案権	意匠権(参考)	商標権(参考)
通常実施権許諾件数	10,1018	1,210	7,990	54,395
現存登録件数	1,315	29	74	1,700
登録率(%)	1.30	2.40	0.93	3.13

【出典：実施許諾件数…平成18年度「知的財産活動調査報告書、現存登録件数…特許庁調べ(平成18年)】

図2 - 2 特許権及び実用新案権について実施権登録をしない理由について(複数回答)

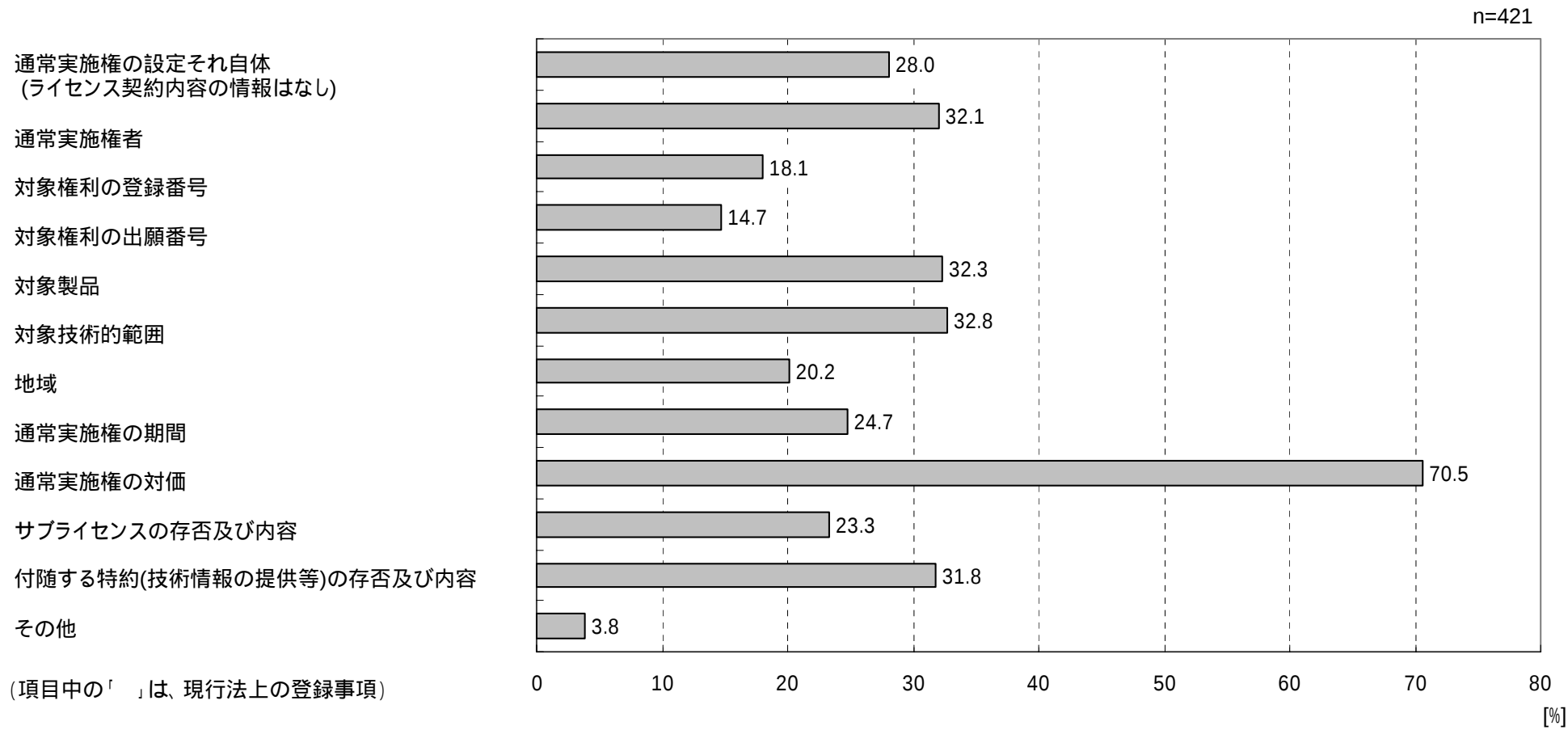
- 通常実施権を登録することによる法的な効果について認識していないため、登録を行うことは多くない
- ライセンス契約の存在を秘密にしておきたいので、登録を行うことは多くない
- ライセンス契約の内容を秘密にしておきたいので登録を行うことは多くない
- 通常実施権の対象権利について登録番号で把握していないものについては、登録をすることができない
- ライセンサーが通常実施権の登録に協力しない場合は、登録をすることができない
- 通常実施権について登録をしなくても、実際上は権利行使をされることがないので、登録を行うことは多くない
- 手続を行うのが煩雑であるため、登録を行うことは多くない
- 登録料が高額であるため、登録を行うことは多くない
- その他



「その他」として、「ライセンサーからの要求がないため」、「実用新案権のライセンス事例はない」との回答もあった。

【出典：平成18年度 知的財産の適切な活用のあり方に関する調査研究報告書 / (財)知的財産研究所】

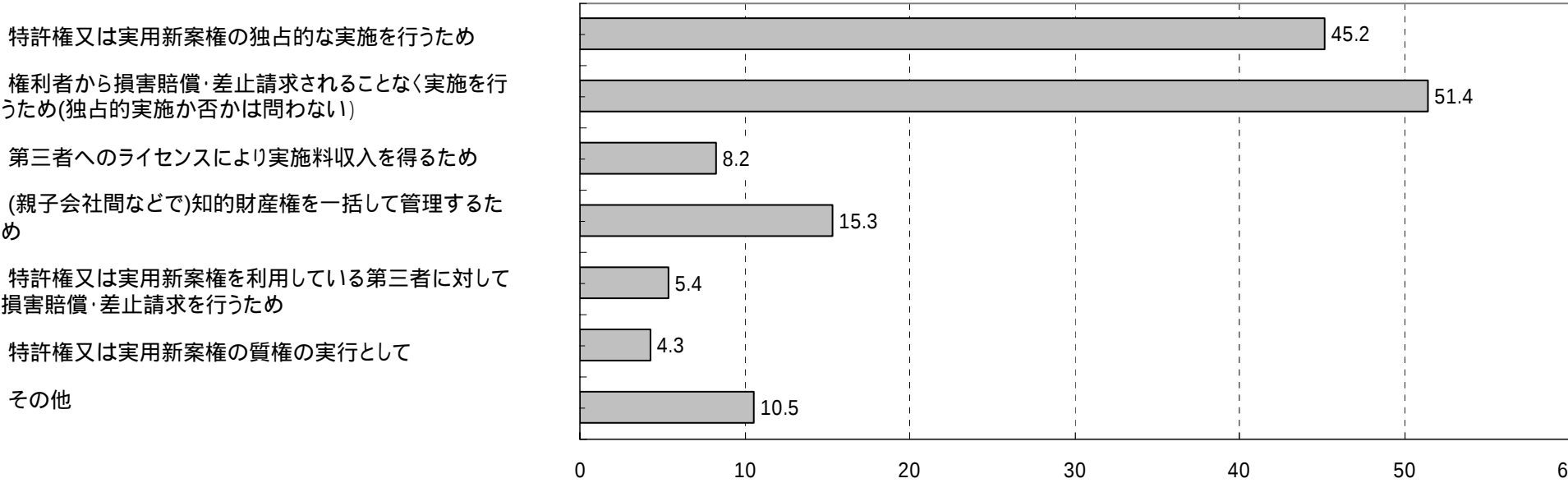
図2 - 3 ライセンシーの立場において、実施権登録によって一般に情報開示したくない項目について(複数回答)



【出典：平成18年度 知的財産の適切な活用のあり方に関する調査研究報告書 / (財)知的財産研究所】

図3 - 1 特許権又は実用新案権を第三者から取得又は取得を検討した際の理由について(複数回答)

n=352



「その他」として、「事業譲渡・営業譲渡に伴う」という回答が最も多かった(18社)。ほか、「保有特許の充実を図るため」との回答もあった(5社)。

図3 - 2 第三者から特許権等を取得する際に行う事前調査について

n=635

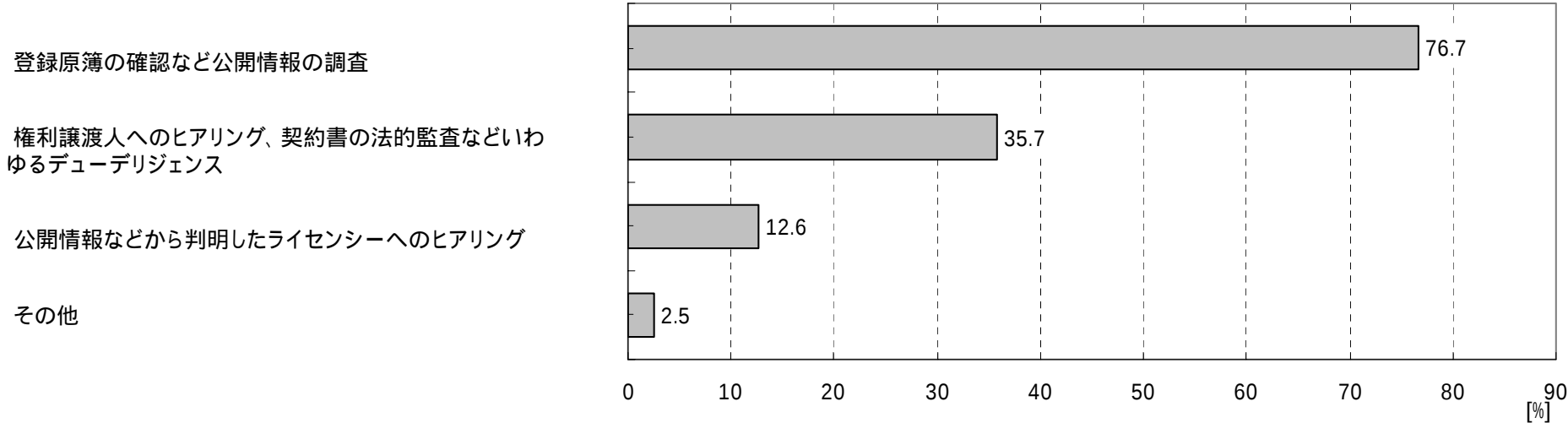
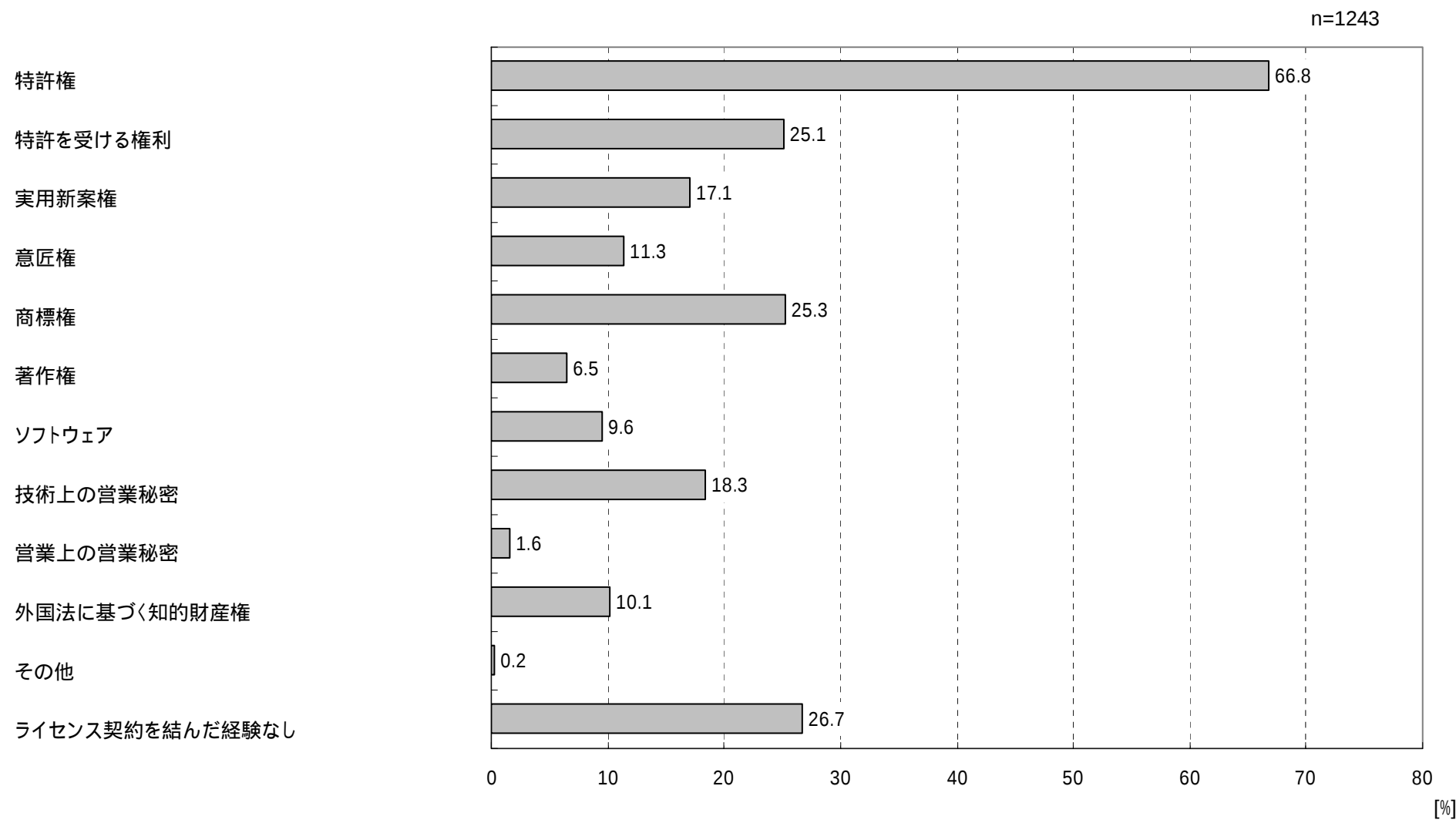


図4 - 1 知的財産のライセンス契約に係る契約の対象(複数回答)



【出典:平成17年度 知的財産の流通・流動化に係る制度的諸問題の調査研究報告書 / (財)知的財産研究所】

図4 - 2 出願中の権利の仮登録を認める制度(複数回答)

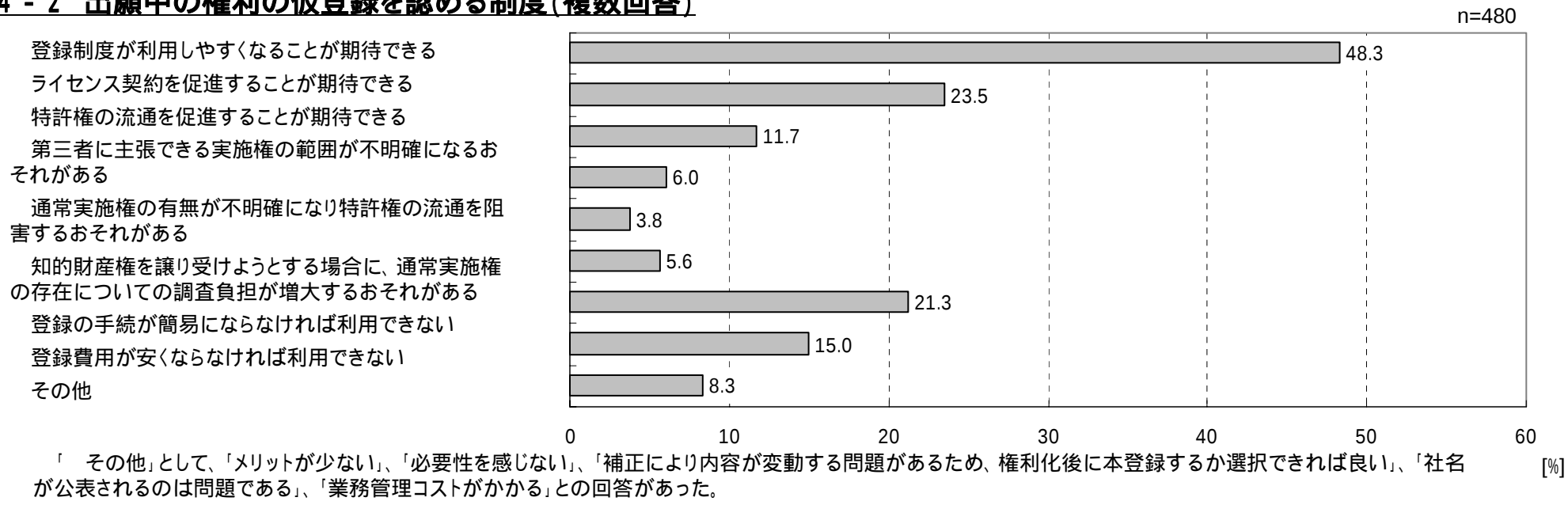


図5 - 1 サプライセンスの登録制度(複数回答)

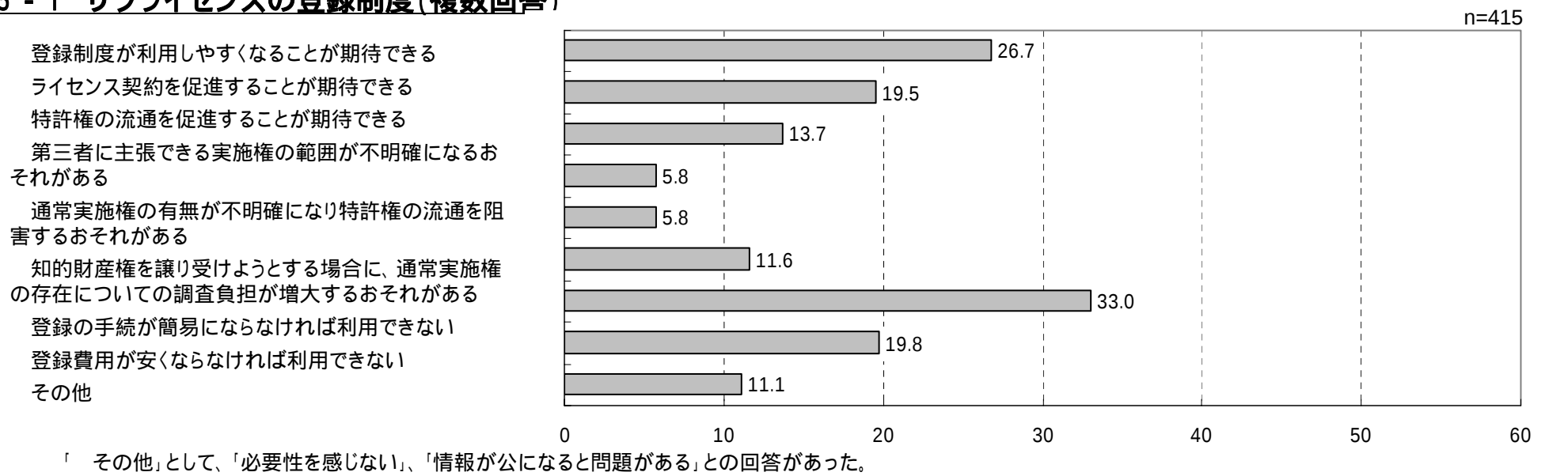


図6 - 1 ライセンサーの立場において、通常実施権の登録に協力するか(しているか)

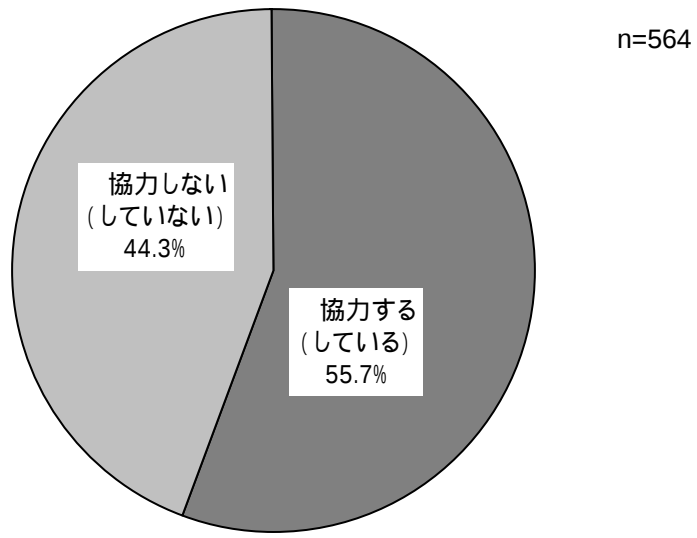


図6 - 2 協力しない(していない)理由(複数回答)

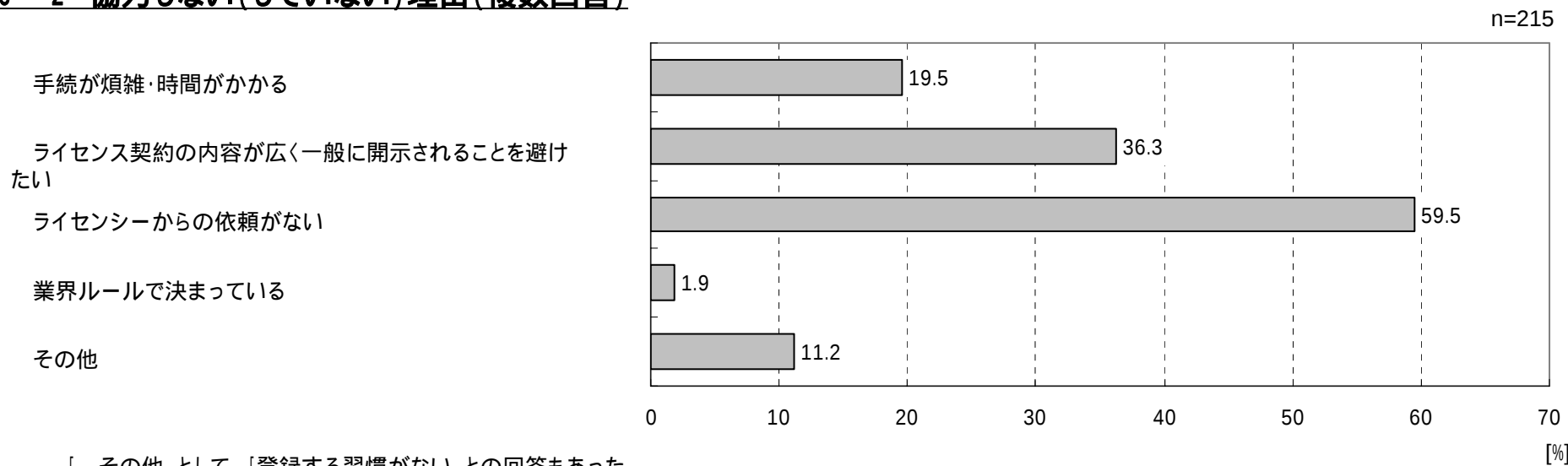


図6 - 3 ライセンサーの立場において、通常実施権の登録に協力義務を課した場合の不都合の有無

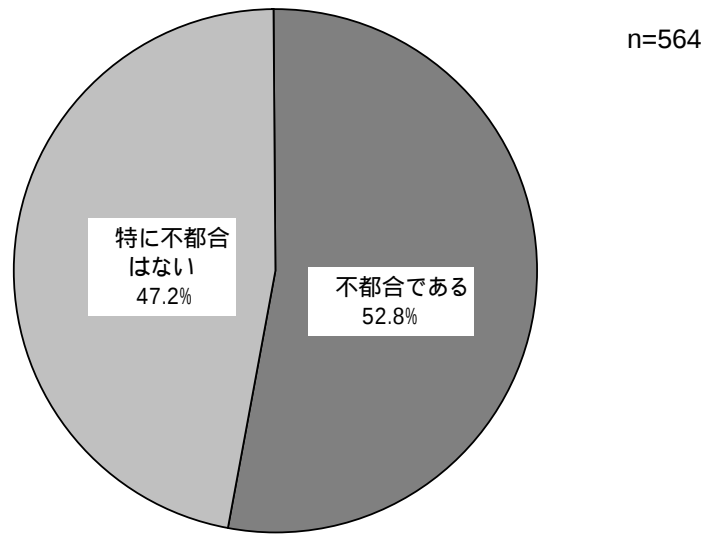
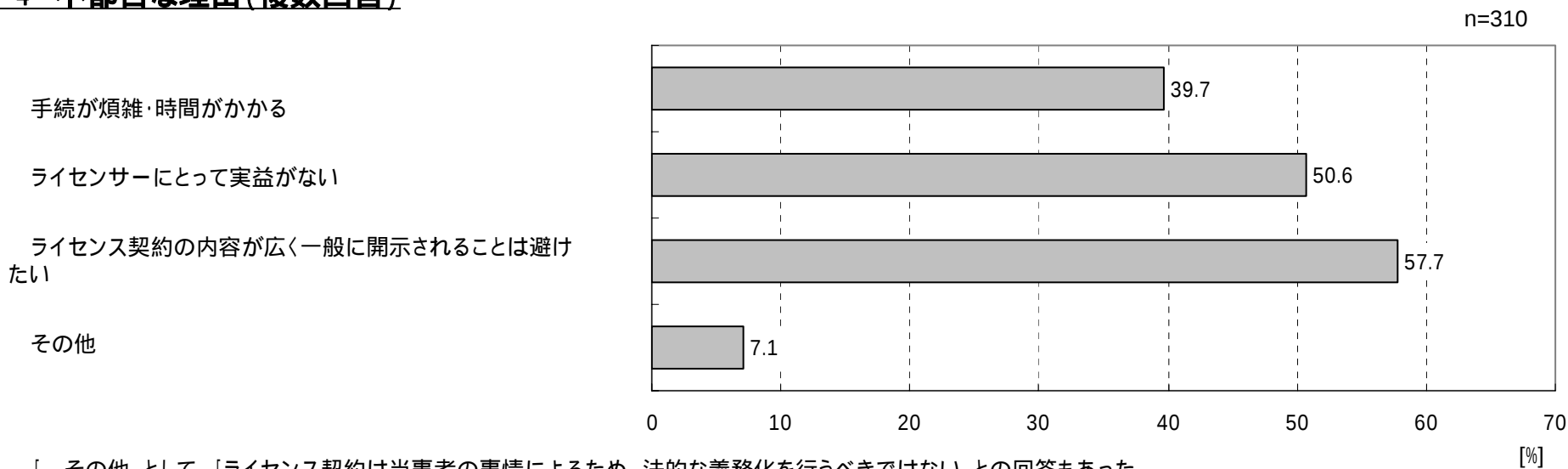
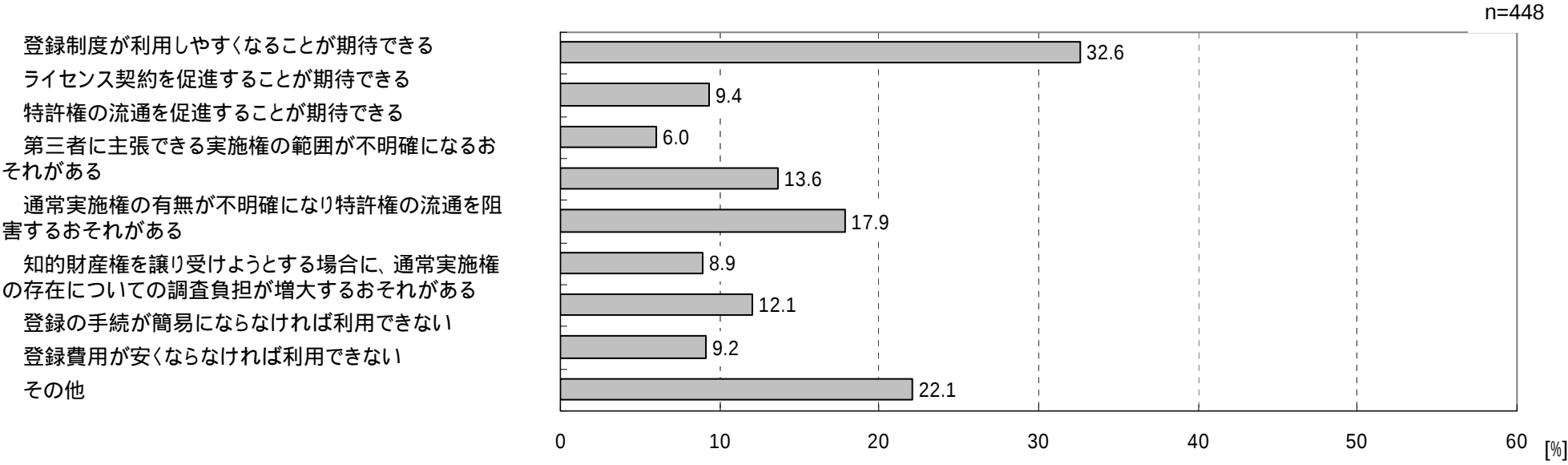


図6 - 4 不都合な理由(複数回答)



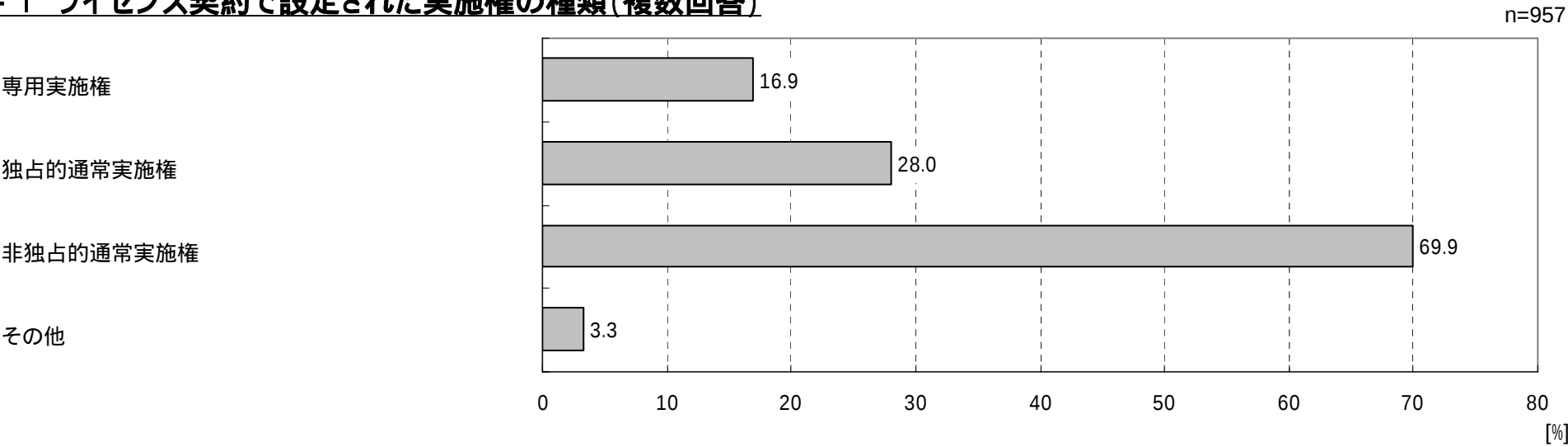
「その他」として、「ライセンス契約は当事者の事情によるため、法的な義務化を行うべきではない」との回答もあった。

図6 - 5 ライセンサーの同意なく単独で登録できる制度(複数回答)



【出典:平成18年度 知的財産の適切な活用のあり方に関する調査研究報告書 / (財)知的財産研究所】

図7 - 1 ライセンス契約で設定された実施権の種類(複数回答)



【出典:平成17年度 知的財産の流通・流動化に係る制度的諸問題の調査研究報告書 / (財)知的財産研究所】